

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きを短くまとめて紹介します



北京事務所

中国最大級の旅行博「北京国際旅游博覧会 2019」に出展しました

6月18日から20日にかけて、北京国家会議中心で行われた旅行博「北京国際旅游博覧会（BITE）2019」に、クレア北京事務所は過去最多となる25の地方自治体と共同でブースを出展しました。同旅行博は中国において最大級の規模を誇り、メディアの取材も多いため、夏季休暇や国慶節の旅行商戦に大きな影響を与えます。期間中は旅行業界関係者約4万人、一般来場者約10万人を集め、大きなにぎわいを見せました。多くの来場者がクレアブースにも訪れ、用意したパンフレットやノベルティが早々になくなるなど、あらためて訪日旅行に対する中国の人々の高い関心がうかがえました。

また、共同で設営した日本政府観光局（JNTO）のステージにおいては、各地方自治体が観光PRやクイズ大会、福島県から招いた芸妓による演舞実演などのさまざまな催しを行い、多くの来場者の注目を集めていました。ステージを見た後、クレアブースに立ち寄り熱心に質問する来場者もいて、旅行意欲を刺激する良い取り組みとなりました。

出展した地方自治体からも「旅程や費用など、具体的な質問が多く寄せられ、地域の認知度の高まりを感じる」、「昨年度以上にお客様にお立ち寄りいただき、大きな手応えを感じた」、「共同出展することで、会場でも一際注目を集めている。来年度も出展したい」などの感想が寄せられました。

中国における訪日旅行意欲の高さは確かなものであり、今後も各地方自治体と連携して積極的に観光PRを行っていきます。

※共同出展地方自治体：宮城県、秋田県、福島県、茨城県、群馬県、神奈川県、チーム昇龍道（富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県）、徳島県、福岡県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、札幌市、横浜市、大阪市、神戸市、熊本市



多数の来場者が訪れたクレアブース



福島県から招いた芸妓による演舞実演



パリ事務所

熊本市、エクサンプロヴァンス市において5分野での交流事業を実施

5月23日、24日の2日間、多野春光熊本市副市長をはじめ、行政、民間企業の団体、大学などからなる熊本市訪問団22人が交流都市である仏南部エクサンプロヴァンス市（以下エクス市）を訪れ、交流事業を実施しました。昨年10月、エクス市訪問団が熊本市を訪れ、エクス市の魅力を総合、経済、文化、観光の4つの分野で紹介するセミナーや分野別協議などの交流事業を行ったことを受け、今回は相互交流として熊本市がエクス市で事業を行ったものです。

冒頭で市民に向けて行った熊本市の魅力や取り組みに関するセミナーでは、さまざまな質問があり、熊本市、ひいては日本への関心の高さがうかがえました。その後、経済、観光、文化、教育（大学）、日本庭園整備の5分野に分かれ、視察や協議を行い、両市の交流を深めました。具体的には、経済分野では、日本に関心のある起業家に向け熊本市の経済についてプレゼンテーションを行い、意見交換を実施しました。また、日本庭園整備分野では、エクス市において新たに整備予定の日本庭園への技術協力として、竹林や庭園の視察および協議を行いました。

日仏両国の自治体が一堂に会する日仏自治体交流会議では、2018年に熊本市が、来年2020年にはエクス市が開催市となるなど、両市は日仏交流に積極的に取り組んでいます。今回の交流事業でも、行政主導の交流にとどまらない多様な主体による、より強固な友好・提携関係の構築に力を入れている様子がみられ、今後のさらなる交流の発展が期待されます。



熊本市の総合的な魅力を発表する多野副市長



経済交流会の参加者たちと



ロンドン事務所

60 万人が来場！欧州最大級の日本文化発信イベント「日本デー 2019」に出展

5月25日、独・デュッセルドルフで欧州最大級の日本文化発信イベント「日本デー 2019」が開催され、和装やアニメ等キャラクターの衣装に身を包んだ参加者により、会場は大いに盛り上がりしました。

クレアロンドン事務所もブースを出展し、自治体パンフレットの配布、ポスター展示を行うなど日本各地の魅力を PR しました。日本旅行への関心は高く、10 時頃から沢山の人が当ブースを訪れ、15 時頃には約 2,700 部用意したパンフレットがほとんどなくなるほどでした。

ブースを訪れた人に話を聞いたところ、日本へ行ったことのない人は主要観光都市への関心が高い一方で、過去に行ったことがある人は地方都市の周遊や、サイクリングやトレイル等の体験型の観光をしてみたいと答えるなど、各々の嗜好に合わせた観光を計画しているようでした。また、食事の話に及ぶとベジタリアン向けでおすすめの食べ物について質問をされることも多く、さまざまな食のタイプへの対応はアピール材料になると感じました。

訪日旅行についてのアンケートでは、滞在期間については 8～14 日間が多く、滞在月は 4 月が人気で、桜を理由に挙げる人が多い印象でした。また、予約のタイミングは 3～6 カ月前、次に 6～12 カ月前が多く、余裕をもって申し込みを行っている様子でした。詳細は https://www.jlhc.org.uk/jp/economy_exchange/japantag2019/ をご参照ください。



来場者で賑わうライン川岸



ブースを訪れる来場者



シンガポール事務所

「海外経済セミナー」を東京で開催しました！

5月20日、21日の2日間、東京にて海外経済セミナーを開催しました。

現在、成長著しい東南アジア市場においては、訪日旅行客の増加、日本食ブーム、日本式サービスの進出が進んでおり、多くの自治体が訪日誘客、特産品販売促進、地元中小企業の進出支援に関心を寄せています。そうした自治体の活動を支援するため、クレアシンガポール事務所とつながりのある観光誘客や地域特産品の販売促進に取り組む現地トッププランナーの方々、自治体の海外駐在経験者などを講師としてお招きし、最新かつ具体的な情報を伝えるセミナーとしました。セミナーには観光誘客や物産の販路拡大に取り組む自治体職員など、延べ 113 人にご参加いただきました。

2日目の講演終了後は、講師の方々とは直接話す場として意見交換会を開催。参加者から講演に関する疑問点や、自身の業務の課題を講師に相談し、アドバイスを受けるとともに、参加者同士が積極的に交流するなど、新たな関係の構築につながる非常に有意義なセミナーとなりました。



多くの自治体職員等が参加



意見交換会の様子



ニューヨーク事務所

ジャパニーズグルメフェアに参加した 茨城県内企業を支援！

ロサンゼルスにある日系スーパーミツワマーケットプレイスにおいて開催されたジャパニーズグルメフェアに茨城県内の企業が参加し、当事務所職員が県の依頼を受け活動支援を行いました。具体的にはブース運営の補助のほか、現地スーパーなど視察先の案内を行いました。フェアでは、試食販売を行ったところ、日系のお客様に限らず、多くのお客様が試食に足を止め、商品に対する反応も良く、完売する商品もありました。フェア後のお店との商談においては、定番化が決定した商品もあり、茨城県内企業の海外展開につながりました。



試食販売の様子

自治体訪問研修として テキサス州ペアランド市を訪問

6月9日から13日にかけて、4月から当事務所に赴任した職員がテキサス州ペアランド市を訪問しました。同市はこの20年間で人口が約3倍に増加するなど、著しい成長を遂げており、住環境の整備、警察・消防施設の充実、多彩な教育プログラムの提供、積極的な企業誘致などに力を入れて取り組んでいるところです。こうした米国地方行政のあり方につき実地で学ぶほか、市議会への参加、市長・シティマネージャーと意見交換を行い交流促進を図るなど、実りの多い研修となりました。



市議会ではクレアの説明をする
安藤上席調査役



ソウル事務所

2019 年度第 1 回クレアソウルセミナーを開催

2019 年 6 月 14 日、ソウルグローバルセンターにおいて、韓国に駐在する地方公務員など 37 人が参加し、2019 年度第 1 回のセミナーを開催しました。

本セミナーは、年間 4 回程度開催し、うち 2 回は、韓国の地方都市に出向いて、地方行政に関する講義や現地視察、韓国自治体職員との意見交換などを行っており、今年も、現在、内容を検討しています。

今回は、今年の第 1 回目であることから、韓国駐在として必要となる情報や知識の習得を目指して、韓国の地方自治制度や地域活性化の取り組み、ソウルの歴史と生活、韓国から日本へのアウトバウンドの動向などについて、経験豊かな講師から講義を受けました。

また、韓国で、観光や物産振興に取り組む静岡県、新潟県、長崎県のソウル事務所からも、日頃の活動について紹介があり、参加者からも、多くの質問が寄せられ、見識を深める有意義な機会となりました。

このような取り組みを通じて、韓国に駐在する地方自治体職員等が韓国への理解を深めるとともに、日韓の自治体職員等の交流が盛んになることを期待しています。



韓国の歴史と生活についての講義の様子



参加者・講師による質疑応答の様子



シドニー事務所

「Snow Travel Expo 2019」で青森県と石川県のスキーの魅力で PR！

5 月 19 日、世界中のスキーリゾート、スキー用品店や旅行会社の関係者等が集い PR を行うスキーショー「Snow Travel Expo 2019」がメルボルンで開催され、クレアシドニー事務所は青森県および同県黒石市から活動支援依頼を受け、同県内のスキー場とその周辺の宿泊施設への誘客のため PR を行いました。5 月 26 日には、同 Expo がシドニーでも開催され、青森県、同県黒石市、石川県の PR 活動を支援しました。個人旅行先を探す多くの来場者が、良質な雪を有するスキー場の情報を求め、両県のブースを訪れました。いずれの会場も大盛況で、有意義な PR の機会となりました。

また、5 月 20 日にメルボルンで、そして翌 21 日にシドニーで開催された日本政府観光局（JNTO）主催の旅行商談会「Japan ROADSHOW」にも青森県が出展し、現地旅行会社に対し黒石市を含む青森県内の観光情報を PR しました。スキー以外のグリーンシーズンのアクティビティに対する関心も高まっていることがうかがわれました。

クレアシドニー事務所は、これからも日本の自治体のオーストラリアにおけるプロモーションを支援していきます。



青森県ブースで PR する同県の CIR とクレアシドニー事務所職員



石川県ブースで PR するクレアシドニー事務所職員



JET プログラム事業部

JET プログラム参加者等によるコラムを掲載しています！

JET プログラム参加者や JET プログラム経験者が日本での生活やさまざまな体験を通して感じたことを紹介し、日本の新たな魅力の発見や JET プログラムへの理解および普及につなげるため、読売新聞社による英字新聞（The Japan News）にコラム「JET Programme Voices」を掲載しています。月に 1 回の頻度で定期的に掲載しており、「The Japan News」のウェブサイトでも公開されています。歌舞伎の女形体験や、太鼓の演奏体験、北アルプス「剣岳」の登山体験など的大変興味深いコラムが英語で掲載されていますので是非ご覧ください。

なお、コラムは「JET 派遣先の魅力」、「地方・田舎の魅力」、「日本の不思議」等のテーマで通年募集しておりますので、興味がある JET プログラム参加者や JET プログラム経験者がいらっしゃいましたら以下の当協会 JET プログラム事業部ホームページをご参照のうえ、奮ってご応募ください。

- The Japan News の「JET Programme Voices」公開ページ
<http://the-japan-news.com/news/jetvoice/>
 - 当協会 JET プログラム事業部ホームページ
<http://jetprogramme.org/ja/jetvoices/>
- また、質問等がありましたら、以下の連絡先までお気軽にご相談ください。
- 電話：03-5213-1727
 - メール：gyomu@clair.or.jp



Becoming the African taiko player



Learning to be a Lady

多文化共生課

「第4回 災害時の連携を考える全国フォーラム」で分科会を実施しました！

5月21日、22日の2日間、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）主催（内閣府共催）の「第4回 災害時の連携を考える全国フォーラム」が開催されました。今回は、連携・協働をベースとした「災害支援の文化を創造する」をメインテーマに、全体セッションや20分野の分科会が行われ、全国の自治体や社会福祉協議会、NPO法人、企業などから600人を超える方が参加しました。

その中でクレアは、JVOADに加入する難民支援協会（JAR）と共同で「災害時の外国人支援～これまでの取組と今後の課題～」をテーマに分科会を実施しました。分科会では、これまでの災害時の外国人支援の変遷や、外国人支援ツールの提供などクレアの取り組み、熊本地震での支援の状況について理解を深めるとともに、平時からの関係者間の連携強化を課題として共有しました。参加者からは、外国人支援について考える良い機会になったという声もいただきました。



全体セッションの様子



分科会の様子

経済交流課

食を通じた地域のプロモーション・交流事業 第1回モニターツアー開催！

クレアでは、日本およびアジアに料理教室を展開する（株）ABC Cooking Studio（東京都千代田区丸の内）と連携して、日本の地域の魅力を掘り起こし、海外販路開拓やインバウンド誘致につなげる、地域の「食」と「文化」が体験できるツアー形式のプロモーション事業を行っています。取り組み2年目となる2019年度は、茨城県、新潟県、岡山県、奈良県での開催が決定しており、第1回目となる茨城県でのツアーを6月1日から4日に開催しました。今回は日本の食文化等に関心を寄せる韓国の消費者を招へいし、国内生産量日本一のメロンや茨城県の高級ブランド牛の常陸牛などの食をはじめ、偕楽園や鹿島神宮などの文化・歴史的スポット、竜神大吊橋での日本最大級のバンジージャンプといったアクティビティ等、茨城県の魅力を体験。参加者にSNSや動画配信等を通じて情報発信をしていただき、需要の喚起や認知度の向上を図りました。今後も、さらなる地域の魅力発信をサポートしていきます！

※事業の詳細はHPをご覧ください。

<http://economy.clair.or.jp/activity/project/>

■お問い合わせ 経済交流課

Tel：03-5213-1726 Mail：keishin@clair.or.jp



2019年度第1回モニターツアー（茨城県／メロン収穫体験）の様子

交流親善課

海外自治体幹部交流協力セミナー（GAOK-CLAIR 共同研修）を実施しました！

5月22日から29日までの8日間、大韓民国市道知事協議会（GAOK）と共催で、韓国より15人を迎え、東京都、埼玉県、宮崎県でセミナーを開催しました。

今回は「日本の都市再生政策と事例研究」のテーマの下、「日本の空き家対策」、「中心市街地の活性化」について国、県、市などの各立場で講義をしていただきました。

日南市では、崎田市長から油津商店街の再生事業について説明をいただいたほか、民間の立場から同商店街の活性化に取り組んでいる木藤亮太氏から事例を交えて講義をいただきました。終了後の歓迎レセプションでは、多くの市民も参加して、参加者との交流を深めることができました。

また、都城市では図書館等を中核施設とする中心市街地の活性化についての講義、現地視察を行いました。

参加者からは、法律、予算、事業の流れ、成果など多岐にわたって質問があり、関心の高さがうかがえました。



宮崎県知事と意見交換する参加者たち



日南市油津商店街の現地視察